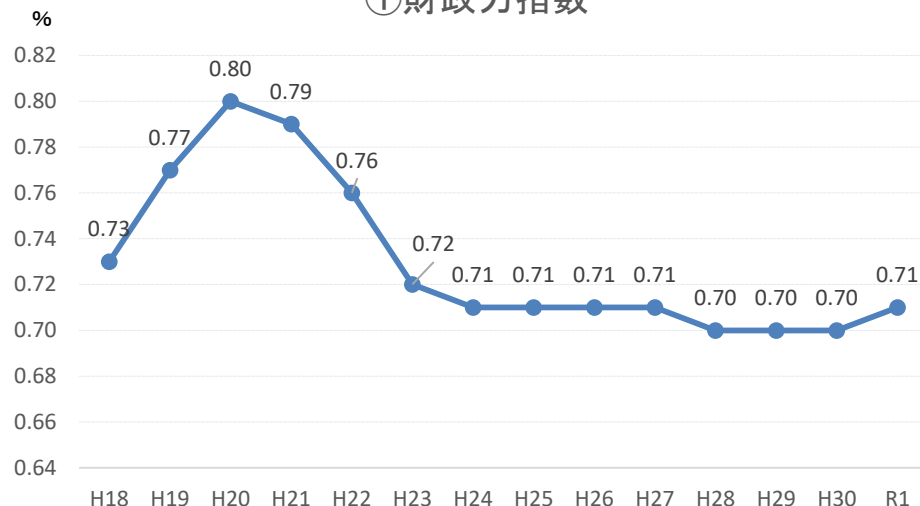


# 行田市の財政状況について

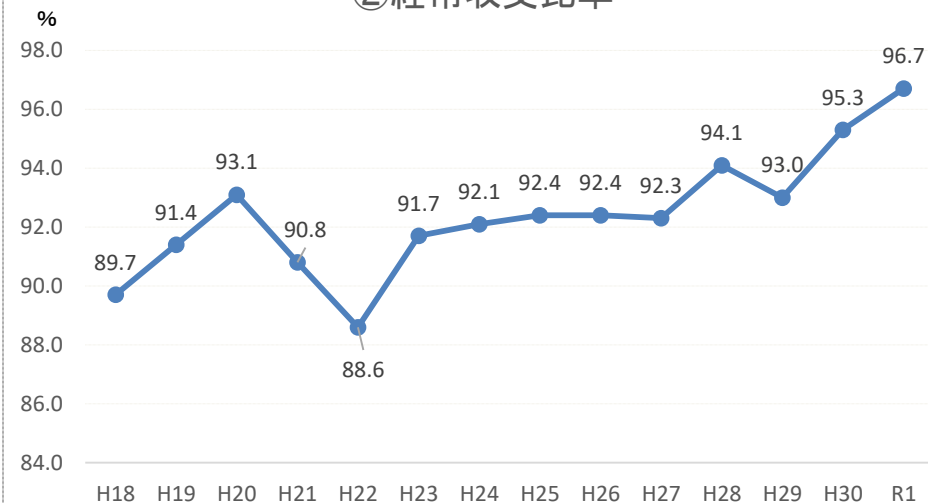
# ① 主な財政指標の推移(合併後)

## ① 財政力指数



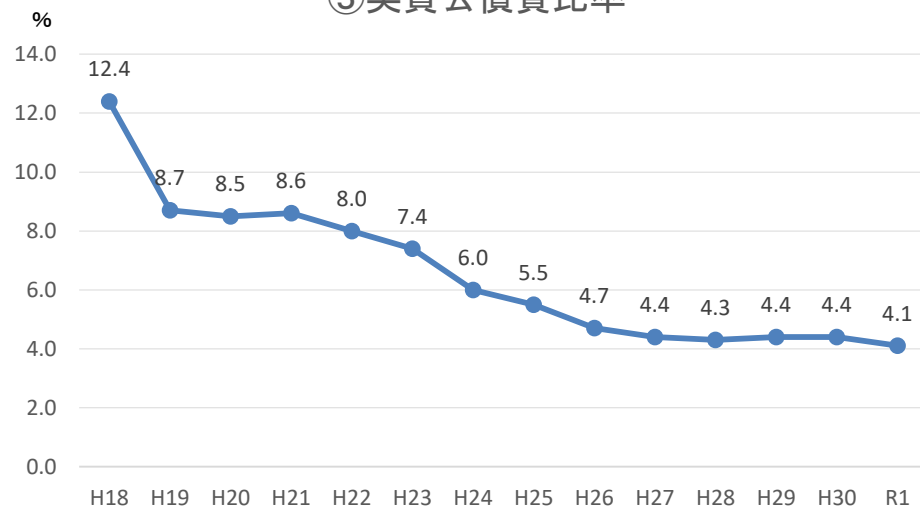
【財政力指数: 標準的な行政経費に対する税収入などの割合】  
◆ H20年度をピークとして減少し H23年度以降は横ばい

## ② 経常収支比率



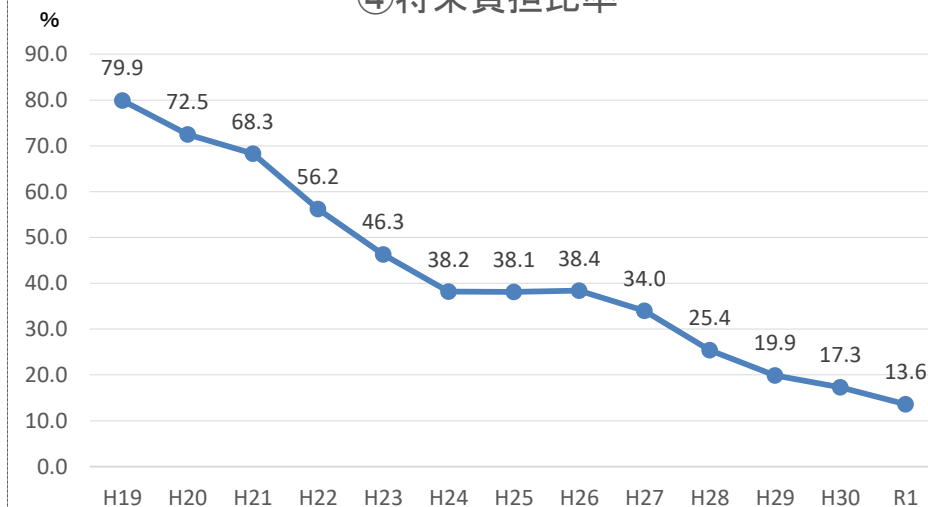
【経常収支比率: 経常的な収入に対する経常的な支出の割合】  
◆ H22年度以降増加傾向、R元年度は、過去最悪の96.7%

## ③ 実質公債費比率



【実質公債費比率: 収入に対する1年間の借金返済額の割合】  
◆ H18年度以降、減少傾向

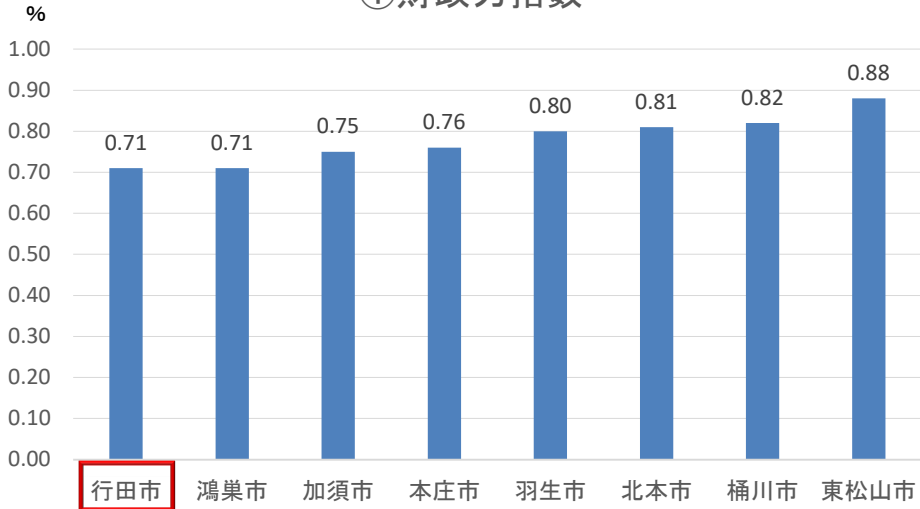
## ④ 将来負担比率



【将来負担比率: 収入に対する将来負担する借金などの割合】  
◆ H19年度(制度開始)以降、減少傾向

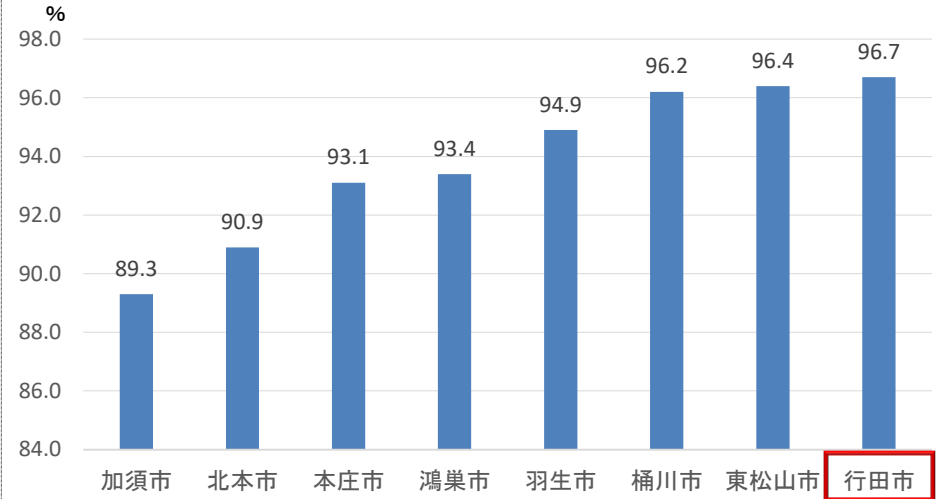
# ② 主な財政指標の近隣同規模団体との比較 (R元決算)

## ① 財政力指数



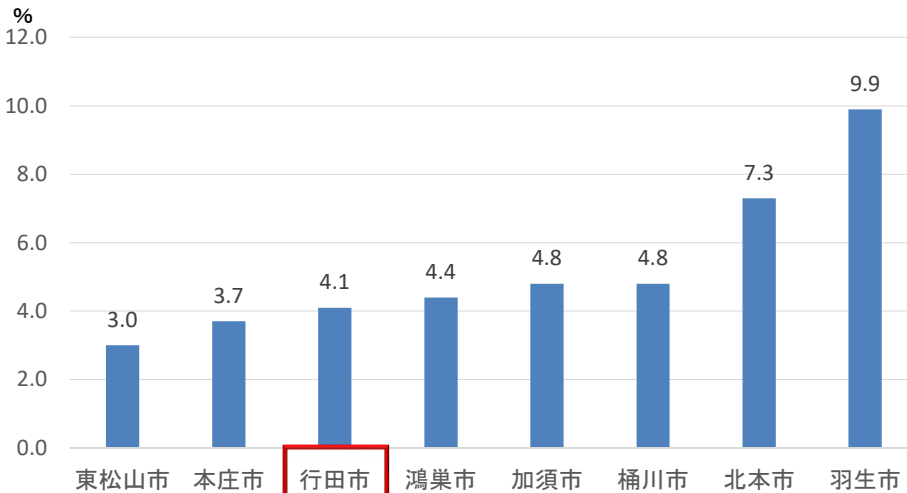
◆ 比較団体の中で、鴻巣市と並んで1番低い

## ② 経常収支比率



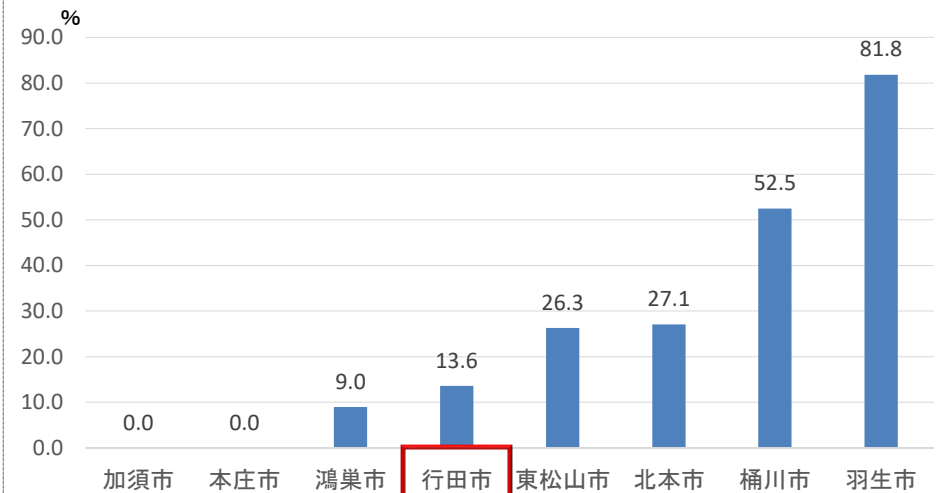
◆ 比較団体の中で1番高い

## ③ 実質公債費比率



◆ 比較団体の中で3番目に低い

## ④ 将来負担比率



◆ 比較団体の中で4番目に低い

# ③ 主な財政指標のポイント

## 1 主な財政指標の推移

(%)

財政指標	H18	R元	R元県内市平均	備考
① 財政力指数	0.73	0.71	0.87	H18とR元の比較:▲0.02悪化
② 経常収支比率	89.7	96.7	94.8	H18とR元の比較:+7.0悪化
③ 実質公債費比率	12.4	4.1	4.6	H18とR元の比較:▲8.3改善
④ 将来負担比率	79.9	13.6	16.1	H18とR元の比較:▲66.3改善

## 2 主な財政指標の比較(県内40市中良い方からの順位)

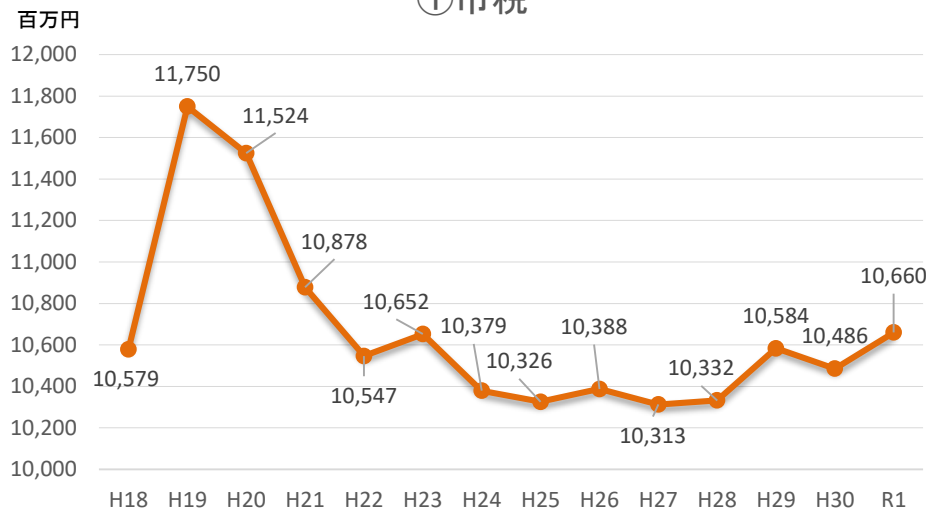
① 財政力指数	東松山市 17位	桶川市 27位	北本市 29位	羽生市 30位	本庄市 35位	加須市 36位	鴻巣市 38位	行田市 38位
② 経常収支比率	加須市 6位	北本市 9位	本庄市 14位	鴻巣市 18位	羽生市 24位	桶川市 30位	東松山市 31位	行田市 34位
③ 実質公債費比率	東松山市 12位	本庄市 16位	行田市 17位	鴻巣市 20位	加須市 22位	桶川市 23位	北本市 37位	羽生市 40位
④ 将来負担比率	加須市 1位	本庄市 1位	鴻巣市 18位	行田市 21位	東松山市 27位	北本市 28位	桶川市 37位	羽生市 40位

## 3 主な財政指標のポイント

① 財政力指数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H20年度をピークに<b>減少傾向</b></li> <li>・県内40市中<b>ワースト2位</b>で、<b>財政力が弱い</b></li> </ul>
② 経常収支比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H23年度以降、9年連続で90%を超え、R元年度は<b>過去最悪の96.7%</b></li> <li>・県内40市中<b>ワースト6位</b>で、<b>財政構造の硬直化が進行</b></li> </ul>
③ 実質公債費比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H18年度以降、<b>減少傾向</b></li> <li>・県内40市中<b>中位程度</b></li> </ul>
④ 将来負担比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H19年度以降、<b>減少傾向</b></li> <li>・県内40市中<b>中位程度</b></li> </ul>

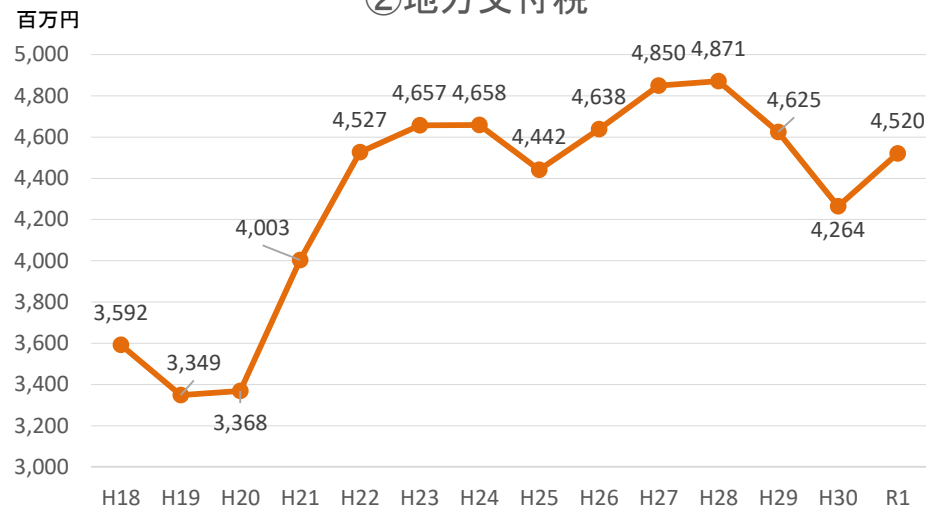
# ④主な歳入の推移(合併後)

## ①市税



◆ 国税からの税源移譲があったH19年度以降は減少傾向で、H22年度以降は横ばいで推移

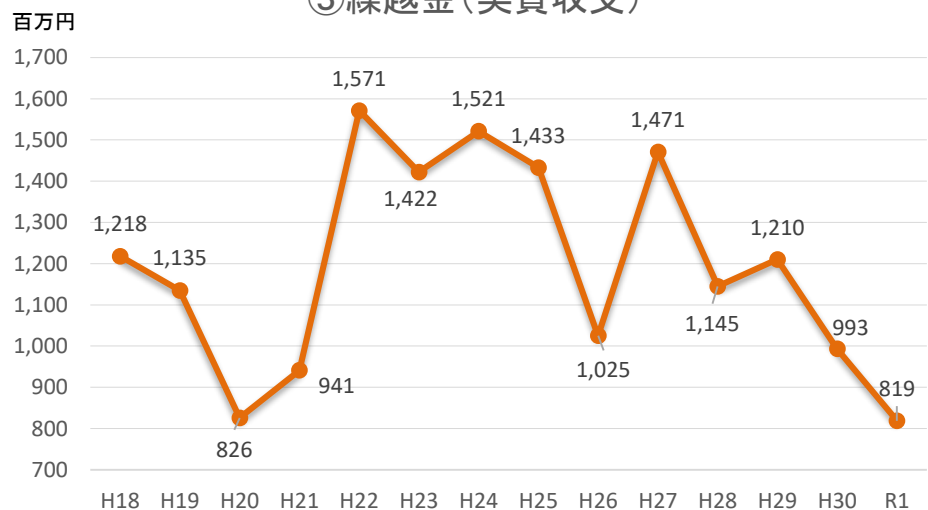
## ②地方交付税



【地方交付税:どの地域においても一定の行政サービスを行うために国税の一定割合が国から交付されるもの】

◆ H20年度以降増加傾向であったが、H28年度以降は、減少傾向

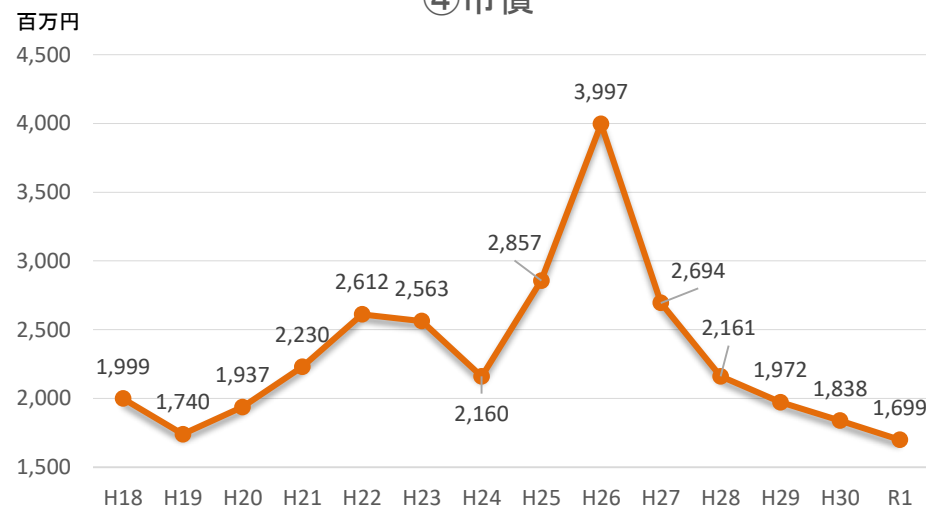
## ③繰越金(実質収支)



【実質収支:歳入歳出差引額から翌年度繰越額を控除した実質的な繰越額】

◆ H20年度とH21年度を除き、10億円以上の繰越金となっていたが、H29年度以降は10億円を下回り、減少傾向

## ④市債



【市債:建設事業などの財源に充てるための借入金】

◆ H25年度とH26年度に一時的に増加したが、以降は減少傾向

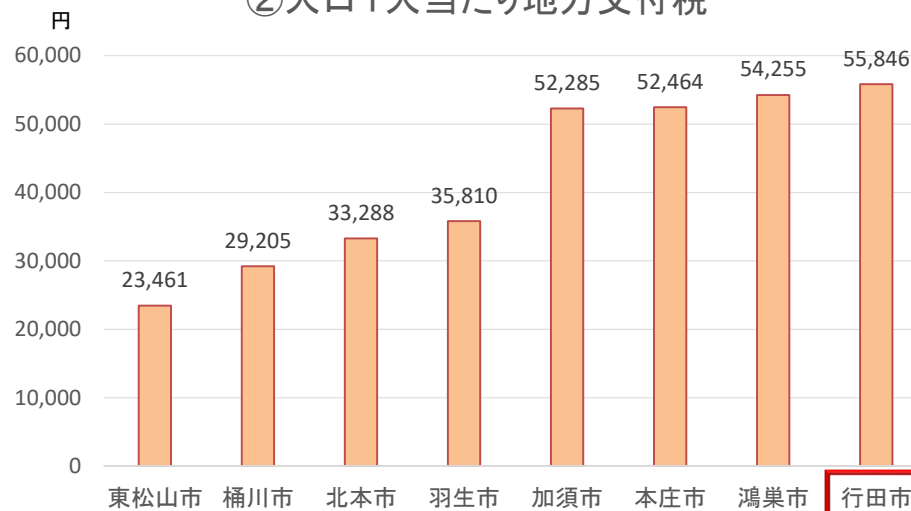
# ⑤ 主な歳入の近隣同規模団体との比較 (R元決算)

## ① 人口1人当たりの市税



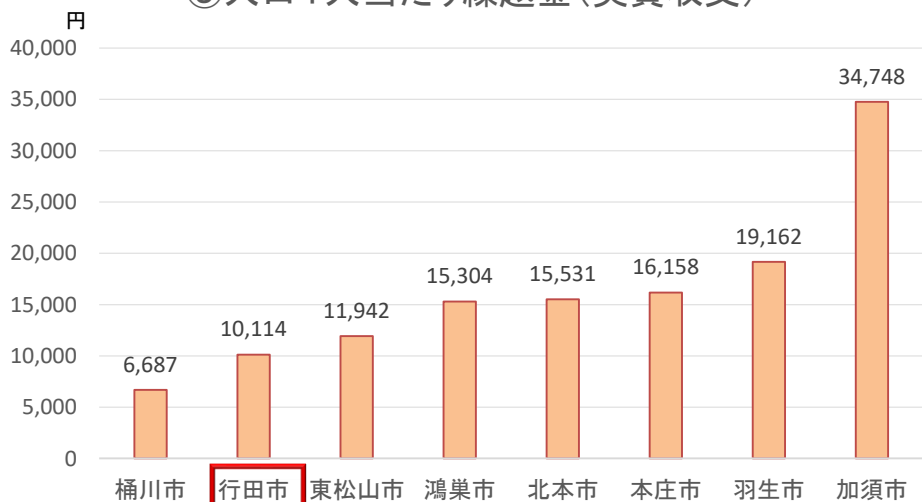
◆ 比較団体の中で2番目に少ない

## ② 人口1人当たり地方交付税



◆ 比較団体の中で1番多い

## ③ 人口1人当たり繰越金(実質収支)



◆ 比較団体の中で2番目に少ない

## ④ 人口1人当たり市債



◆ 比較団体の中で1番少ない

# ⑥ 主な歳入のポイント

## 1 主な歳入の推移

(千円・%)

歳入	H18	R元	増減額	増減率
① 市税	10,578,508	10,659,727	+81,219	+0.8%
② 地方交付税	3,592,408	4,519,981	+927,573	+25.8%
③ 繰越金(実質収支)	1,217,615	818,600	▲399,015	▲32.8%
④ 市債	1,998,900	1,698,796	▲300,184	▲15.0%

## 2 人口1人当たりの主な歳入の順位(県内40市中少ない方からの順位)

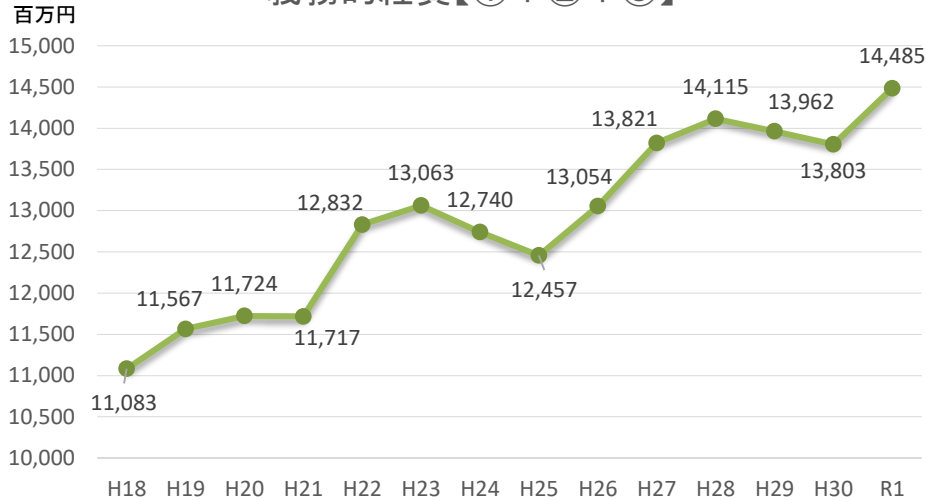
① 市税	鴻巣市 2位	行田市 3位	北本市 8位	桶川市 10位	加須市 13位	羽生市 15位	本庄市 22位	東松山市 25位
② 地方交付税	東松山市 21位	桶川市 25位	北本市 28位	羽生市 30位	加須市 36位	本庄市 37位	鴻巣市 38位	行田市 39位
③ 繰越金 (実質収支)	桶川市 4位	行田市 12位	東松山市 16位	鴻巣市 27位	北本市 29位	本庄市 31位	羽生市 32位	加須市 40位
④ 市債	行田市 16位	本庄市 23位	鴻巣市 25位	北本市 26位	東松山市 31位	羽生市 32位	加須市 33位	桶川市 35位

## 3 主な歳入のポイント

① 市税	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H19年度の税源移譲で増加したが、H22年度以降は、税源移譲前と同水準</li> <li>・人口1人当たりの比較では、40市中ワースト3位 → 自主財源が少ない</li> </ul>
② 地方交付税	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度以降、合併に伴う加算措置(合併算定替)の縮減などにより減少傾向</li> <li>・人口1人当たりの比較では、40市中2番目に多い → 地方交付税の依存度が高い</li> </ul>
③ 繰越金(実質収支)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度以降、繰越金が減少傾向にあり、直近2年間は単年度収支が赤字</li> <li>・人口1人当たりの比較では、40市中14番目に少ない</li> </ul>
④ 市債	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校のエアコンやトイレ改修などの大型事業により増加したが、H26年度以降は減少傾向</li> <li>・人口1人当たりの比較では、40市中16番目に少ない</li> </ul>

# ⑦ 主な歳出の推移(合併後)

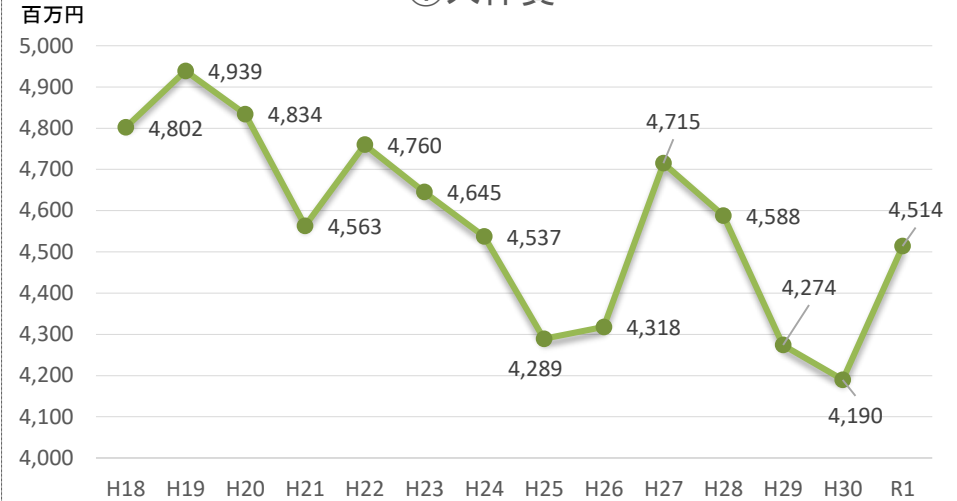
## 義務的経費【①+②+③】



【義務的経費: 支出が義務付けられ、削減が難しい経費のことで、人件費、扶助費、公債費の合計額】

◆ 扶助費の伸びに伴い、増加傾向

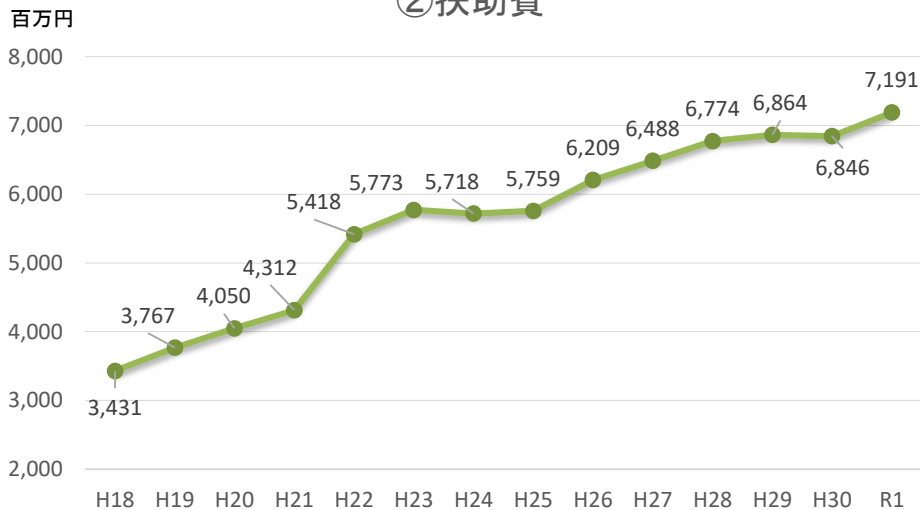
## ① 人件費



【人件費: 職員の給与や議員・会計年度任用職員の報酬などの経費】

◆ 退職者の状況などにより増減はあるが、推移としては減少傾向

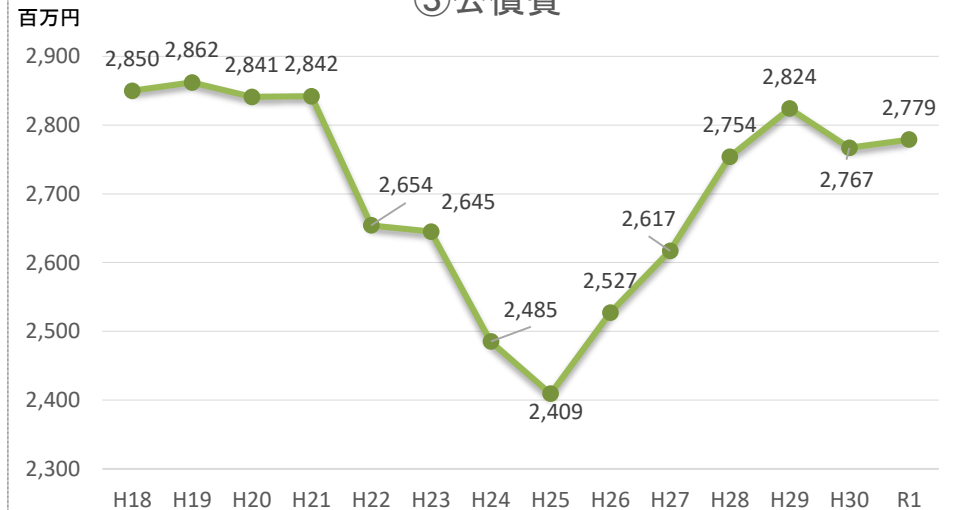
## ② 扶助費



【扶助費: 社会保障制度の一環として、児童や高齢者、障害者や生活困窮者の支援に要する経費】

◆ 合併後2倍以上に伸びており、増加傾向

## ③ 公債費

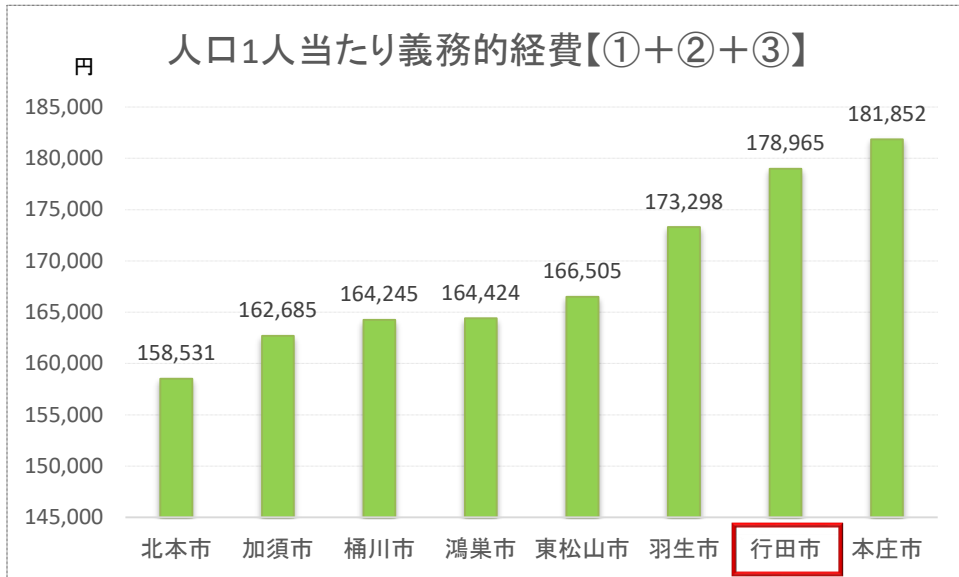


【公債費: 市債(借入金)の返済金】

◆ H25年度までは減少傾向だったが、以降は増加傾向



# ⑧ 主な歳出の近隣同規模団体との比較 (R元決算)



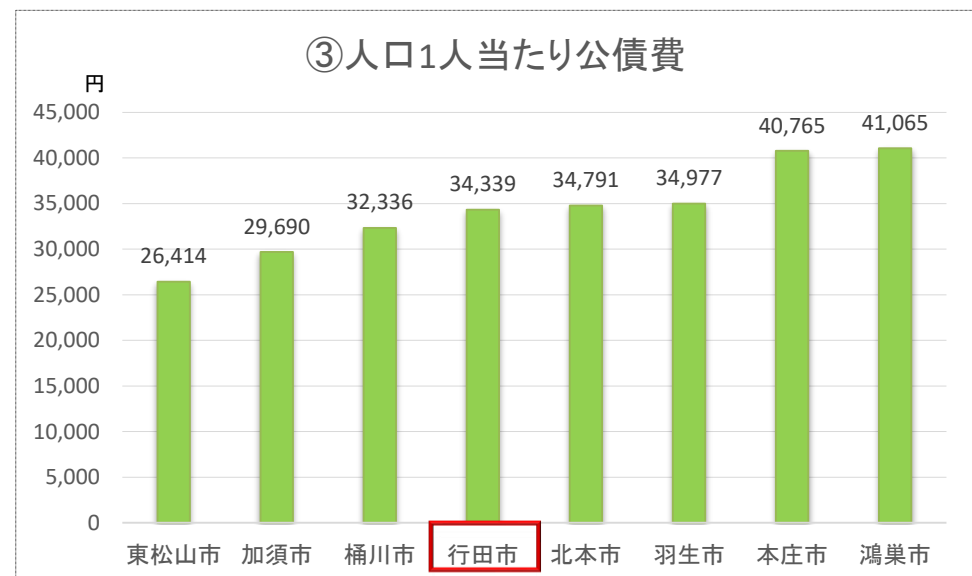
◆ 比較団体の中で2番目に多い



◆ 比較団体の中で2番目に多い



◆ 比較団体の中で3番目に多い



◆ 比較団体の中で4番目に少ない

# ⑨ 主な歳出のポイント

## 1 主な歳出の推移

歳出	H18	R元	増減額	増減率
義務的経費【①+②+③】	11,082,731	14,484,699	+3,401,968	+30.7%
① 人件費	4,802,094	4,514,100	▲287,994	▲6.0%
② 扶助費	3,431,051	7,191,368	+3,760,317	+109.6%
③ 公債費	2,849,586	2,779,231	▲70,355	▲2.5%

## 2 人口1人当たりの主な歳出の順位(県内40市中少ない方からの順位)

義務的経費 【①+②+③】	北本市 12位	加須市 18位	桶川市 21位	鴻巣市 22位	東松山市 24位	羽生市 31位	行田市 35位	本庄市 37位
① 人件費	鴻巣市 14位	桶川市 18位	加須市 22位	本庄市 23位	北本市 25位	東松山市 27位	行田市 33位	羽生市 34位
② 扶助費	北本市 7位	鴻巣市 10位	羽生市 12位	桶川市 15位	加須市 17位	行田市 23位	東松山市 25位	本庄市 27位
③ 公債費	東松山市 20位	加須市 25位	桶川市 31位	行田市 32位	北本市 33位	羽生市 34位	本庄市 37位	鴻巣市 38位

## 3 主な歳出のポイント

義務的経費 【①+②+③】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併後、人件費と公債費は減少しているが、扶助費が大幅に増加。全体では30%増加</li> <li>・人口1人当たりでは、40市中<b>6番目に多い</b></li> </ul>
① 人件費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併後、<b>減少傾向</b></li> <li>・人口1人当たりでは、40市中<b>8番目に多い</b></li> </ul>
② 扶助費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併後、<b>2倍以上に増加</b> → <b>財政運営を圧迫する一因</b></li> <li>・人口1人当たりでは、40市中<b>中位程度</b></li> </ul>
③ 公債費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併後、減少傾向にあったが、H25年度以降は増加傾向</li> <li>・人口1人当たりでは、40市中<b>9番目に多い</b></li> </ul>

# ⑩行田市の財政状況のまとめ

## 1 歳入面

- ① 財政力は、県内ワースト2で、自主財源が少ない
- ② 地方交付税など、国の財政措置への依存度が高い  
※合併に伴う交付税の加算措置(合併算定替)はR2年度で終了
- ③ 人口減少や少子高齢化の進展などにより、市税は減少傾向
- ④ 繰越金(実質収支)は減少傾向にあり、単年度収支は、直近2年連続で赤字
- ⑤ 市債では、有利な起債である合併特例債は、R5年度で終了

## 2 歳出面

- ① 経常収支比率は、県内ワースト6で、財政構造が硬直化し、新たな政策的経費に充てる財源が乏しい
- ② 高齢化の進展などにより、社会保障関係経費は増加傾向で、財政運営を圧迫する要因になっている
- ③ 借金の返済金や残高は減少しているが、今後、公共施設やインフラの老朽化対策が本格化するため、将来的に借金などの負担は増加傾向